

軍事秘

昭和二十年一月十日 整理番號第貳號

OKINAWA 24 JULY

自一月三日  
至一月四日  
野戰高射砲第八大隊  
單  
刊  
言  
報

②

150251

84096

野戰高射砲第八大隊

進	達	先	整理番號	部	數
第三十二軍司令官	第一號	第二號			
野高司	第三號				
					一
					二

戰鬥詳報

目次

一	戰鬥前ニ於ケル彼我形勢、概要
二	戰鬥ニ及ボシタル氣象
三	我、兵力
四	敵機種機數、裝備、素質及戰法
五	戰鬥經過及關係部隊、動作、連絡施設、狀態
六	戰鬥後ニ於ケル彼我形勢、概要
七	連絡過失及其他參考トナルベキ事項
八	戰果一覽表
九	死傷表
一〇	兵器消耗表

昭和二十年自一月三日戰鬪詳報  
一戰鬪前於彼我形勢、概要

野戰高射砲八十六隊

其、一我形勢、概要

### 教育訓練

大隊、中飛行場防空、任有シテ一。月一。日空襲以來當時  
ノ戰訓ニ基キ猛烈ナル日機捕殺及遠距離ニ於ケル機體判定、  
訓練ヲ續ケ、大隊長ハ一週四回指揮班長帶同、各中隊ヲ  
巡回シテ之ガ教育、徹底ヲ計リ遂次向上、途ニ在リ

### 築城

陣地ハ既ニ完成シテ共更ニ偽裝強化、爲甘藷、補植其他  
植物、植込ヲ爲スト共ニ兵舎建築作業ヲ續行ス  
十一月二日軍司令部ヨリ地方住民ト混住嚴禁ノ通牒ニ接シ  
直ニ民家ヲ借上ハ兵舎ニ充當セル處ヲ引揚ヒテ陣地ニ露營  
シ控弁及兵舎建設ニ主力ヲ注テ十二月十五日概ニ竣工引續

ヲ偽裝ヲ施シ十二月ニテ日完了ス

彈藥

彈藥ハ基地及洞窟ハ。箇所ニ分散格納シテ之ガ前濕  
所跡ノ爲各隊ニ六名ヲ以テ一班トセル彈藥整備班ヲ編成セリ  
常時手入ニ當ラシム

派遣

之ヨリ前十月ニテ二日高射砲司令部命令ヨリ那霸派遣爲  
第一中隊ヲ森本少佐ノ指揮ニ入レ殘餘ノ兵力ヲ以テ現ニ担任  
シアル任務ヲ續行ス

直前ノ形勢

敵機B29ノ數時ノ高々度偵察ヲ發見以來近日空襲ヲ多  
予期シテ日出時ヨリ午前中ノ監視ヲ増加(本部八名各中隊六名)  
シテ至嚴ナル警戒ヲ爲ス  
三日。八三。ヨリ監視観測。通信。綜合訓練ヲ實施シテ八五

ニ至ル

其ノ二 敵ノ形勢

偵察

十一月二十九日一ニ四一乃至一三一五ノ間ノボーイング機B29一機(第一二  
中隊陸軍二等兵田島空三郎發見高射砲司令部官ヨリ賞状ヲ授與セル)  
大飛行場 中飛行場那霸附近並ニ全東海岸ヲ偵察シテ東方  
ニ退避セリ

情報

十二月二十七日大本營發表第三項ニ依レバ五日マニラヲラフド  
B24 P38五。機未撃七機撃墜。カバヲB25 B24ニ。機未撃  
ニ五日朝硫黄島B25一。機未撃。二十六日ハルマヘラ島B25 P38  
P40約一。機未撃。ヤツア島P38一。敵機未撃以上ニテ  
大規模ニ對シテ發動ス

十二月二十九日海軍情報ニ依レバ敵機動部隊基幹ト覺シテモ、



一本三十九日一四。以降沖繩本島南方約六。并ノ海上大西ニ  
移動レツナリ

敵機本島侵入

十二月三十一日。八。乃至。八。B29一機沖繩本島南方ヨリ  
侵入小緑飛行場附近ヲ旋回東南方ニ退去セリ。マリヤナ方面  
ヨリ偵察行動ト判断セラル

一月一日。九。八B29一機(本部隊陸軍三等兵垣塚伴作発見)本島偵  
察後東南方ニ退去ス

二、戦闘ニ及ボラレタレ氣象

諸元

一、三日戦闘間ノ氣象諸元尤、如シ

天氣快晴 氣温一八度 氣圧七五九 風向南々東

風速三八 風向角二八。雲高一五五。雨量四・五

視程一五〇〇。

影

日ヲ平均氣象諸元附表第一、如シ

響

一、雲地平線ニ僅カ残スノミニテ空ヨク靄レタレモ薄キ靄アリ  
黒色ノ敵機ハ濃藍色ノ空ニ浮ビ發見稍ノ困難 其ノ機影ヲ照準  
スルニ稍々明瞭ヲ缺ク 殊ニ太陽方向ニ在リテハ然リ

三、我ノ兵力

第一中隊ヲ那覇ニ派遣シテ缺 大隊ノ兵力附表第二、如シ

四、敵ノ機種、機數、裝備、素質、及戰法

日次	機種	機數	裝備	素質		
三	ホーミングB29	一	一・二・三・四・五・六・七・八・九・一〇・一一・一二・一三・一四・一五・一六・一七・一八・一九・二〇・二一・二二・二三・二四・二五・二六・二七・二八・二九・三〇・三一・三二・三三・三四・三五・三六・三七・三八・三九・四〇・四一・四二・四三・四四・四五・四六・四七・四八・四九・五〇・五一・五二・五三・五四・五五・五六・五七・五八・五九・六〇・六一・六二・六三・六四・六五・六六・六七・六八・六九・七〇・七一・七二・七三・七四・七五・七六・七七・七八・七九・八〇・八一・八二・八三・八四・八五・八六・八七・八八・八九・九〇・九一・九二・九三・九四・九五・九六・九七・九八・九九・一〇〇	不	明	
日	グラマン	一五	一・二・三・四・五・六・七・八・九・一〇・一一・一二・一三・一四・一五・一六・一七・一八・一九・二〇・二一・二二・二三・二四・二五・二六・二七・二八・二九・三〇・三一・三二・三三・三四・三五・三六・三七・三八・三九・四〇・四一・四二・四三・四四・四五・四六・四七・四八・四九・五〇・五一・五二・五三・五四・五五・五六・五七・五八・五九・六〇・六一・六二・六三・六四・六五・六六・六七・六八・六九・七〇・七一・七二・七三・七四・七五・七六・七七・七八・七九・八〇・八一・八二・八三・八四・八五・八六・八七・八八・八九・九〇・九一・九二・九三・九四・九五・九六・九七・九八・九九・一〇〇	六	敵機ハ稍々正確アレ共一。二。三。四。五。六。七。八。九。一〇。一一。一二。一三。一四。一五。一六。一七。一八。一九。二〇。二一。二二。二三。二四。二五。二六。二七。二八。二九。三〇。三一。三二。三三。三四。三五。三六。三七。三八。三九。四〇。四一。四二。四三。四四。四五。四六。四七。四八。四九。五〇。五一。五二。五三。五四。五五。五六。五七。五八。五九。六〇。六一。六二。六三。六四。六五。六六。六七。六八。六九。七〇。七一。七二。七三。七四。七五。七六。七七。七八。七九。八〇。八一。八二。八三。八四。八五。八六。八七。八八。八九。九〇。九一。九二。九三。九四。九五。九六。九七。九八。九九。一〇〇	此
日	グラマン	一五	爆彈亦亦量ニ。地	若平有セモ、如シ		
日	所屬機	一三	石	低空襲撃ニ功ナリ		

戦法

一三日、部

ホーイングB29ハ高度ハ。航速一ニ。偵察行動ヲ為シ高射砲、射撃ヲ受クルマ大蛇行（蛇行角一四〇度）運動ヲテ逃避ス。グラマン隊ハ高度三。乃至四。航速一。此外ニテ高射砲ノ威力圏外ヲ東北方ニ宇回シテ飛行場ニ對シ降下銃撃ヲナス。降下角ハ三〇度。降下量ハ約二。米ナリ。攻撃後ハ海上ニ出テ高射火器ヨリ逃避セリ。

二四日、部

雲上北方ニ宇回シテ目標大飛行場ニ近接超低空ニ降下（高度一〇〇。一五〇米）高射砲射撃ヲ回避シテ銃撃ヲ加ヘ且ツ低空五。米、儘海上高射砲ノ威力圏外ニ逃走ス。

五 戦闘經過及關係部隊ノ動作並連絡施設ノ状態

其ノ一 戦闘經過

一。三日。八五三 監視、観測、通信線令訓練實施中、指揮

艇長ハB29ヲシテ高々度爆音ヲ聞キ大隊長ニ報告ト共ニ高射砲司令部ニ報告セントシタレ時

。八五五敵機沖繩本島ニ米軍各隊ハ戦闘空勢ニ轉移スメント高射砲司令部ヨリ電話命令ヲ受ク

ホーイングB29 侵入

。八五八牧港西方海上。ホーイングB29一機高々度ニテ侵入ス。確認ス。既ニ此、時大隊長ハ西中隊ニ對シ「亂射」ヲ命ズ。初弾克ク必墜ヲ期スベシ、注意ヲ與ヘ敵機威力圏内ニ入ルヲ待ツ。九。五機本陣地上空ニ到ルマ大隊長ハ西中隊ニ同時射撃ヲ命ズ。西隊殆ト。秒ヲ間シテ之ヲ射撃ス。高度ハ。航速一ニナリ。射撃稍低シ敵機ハ急上昇ヲナスト共ニ大蛇行ヲテツ、威力圏外ニ逃レ山回ヲ過ギ。九。一四本島西海岸ニ沿ヒ北々東ニ視界ヨリ没ス。九。六高射砲司令部ヨリ彈藥ヲ節用セヨト、注意アリ。

九・七 那霸上空敵機一機、情報ニ接シ大隊長ハ待ニ  
那霸方向ニ至最ナル監視ヲ命ズ

九・二九 那霸西方海上ニ敵機ヲ捕獲追隨監視スル中九・三一  
那霸上空ノ一機ハ間違ヒト受信シ追隨セル一群ノ機體ヲ更ニ  
精細ニ識別セル處敵機ト確認シ報告ス。大隊長ハ両中  
隊ニ對シ「威力圏内ニ入ッたら直ニ射撃セヨ」ト命ズ

グラマン機侵入

九・三三 グラマン機四機編隊南々西牧港上空ヨリ侵入  
九・三五 續イテ機編隊同方向ヨリ進入ス。九・三六 グラマン  
機今那霸空襲ノ報ヲ受ケ大隊ハ目標ノ多數未ダ豫想  
シテ全員雀躍ス

九・三七 進入セルニテ編隊ハ大隊ノ威力圏限界附近ヲ東方ヨリ  
北方ハ宇回行動中後方編隊左旋回姿勢ヲ執リ僅カニ大  
隊ノ威力圏内ニ入ル 第三中隊ハ此ノ際時ヲ捉ヘ高度

三・三〇 航速九〇ヲ以テ射撃ス。敵ハ急ニ編隊ヲ開キ機ネ  
前ノ編隊ト同一航路ヲ採リ機首ヲ北飛行場ニ向ケ急降下  
銃撃ヲ加ヘ海上ヲ依空南方ニ退去ス  
北飛行場ヨリ僅カニ煙ノ上ルヲ認メル外異状ナク被害輕微ノ  
模様ナリ

九・四〇 グラマン機五機編隊續イテニ機北谷西方海上ヨリ  
侵入。大隊ハ必墜ヲ期シテ近接ヲ待ツ。大隊長ハ各  
隊太陽ノ右側ヲ射撃セヨト射撃位置ヲ指示ス

九・四四 五機編隊太陽方向約二〇〇密使ニ近ツク時第一  
中隊發射シ至近距離ニ炸烈ヲ見タルニ撃墜セルニ至ラス  
敵機ハ逆光ニ黒色ノ機影ヲ波状ニ運動セシメ池原東方及  
山田喜名上空ヲ大キク旋回シタルノミニテ南方ハ遁走スニ機  
編隊ハ其レヨリ少サク旋回シテ南方ニ退去ス。時二〇〇五ナリ  
九・四六 高射砲司令官殿ヲ注意アリ要旨左ノ如シ

「初弾必墜ヲ期セヨ、彈藥ヲ節用セヨ」

一〇。二。城山中隊ニ七五方向敵機ニ機發見一〇。二九城山中隊三四。方向敵機發見南進、報アレト大隊ノ視界ニ入ル其ノ後敵影ヲ認メズ至嚴ナル警戒ニ一。二。ニ至ル

### 休宿姿勢

一。二。三。其ノ後敵情ニ關シ新報ヲ得ズ空襲警戒解除セラル各隊ハ休宿姿勢ニ移行スベキ命ヲ受ケ該姿勢ニ復ス  
一。三。四。四那霸上空ニB29發見各隊ハ戦闘姿勢ニ轉移スハレノ命アリテ直ニ戦闘準備完了敵機ヲ待テト来ラズ  
一。五。一。五敵情ニ關シ其ノ後新報ヲ得ズ各隊ハ休宿姿勢ニ移行スベキ命ニ接シ大隊ハ監視増強シテ大隊長以下陣地ニ夜ヲ徹ス

敵機ノ来襲状況 附圖第一ノ如シ

二。四日大隊ハ依然警戒ヲ嚴重ニシテ一。〇。〇ニテ迎テ此ノ時雲一面

ニ空ヲ覆ヒ雲高ハ五。〇。雲量一。〇。ニシテ約二米ノ風北々東ヨリ吹キ氣温一八度ナリ（日日平均氣象諸元ハ附表第一ノ如シ）  
一。〇。三。北々西方向北飛行場北方<sup>高</sup>當、爆音ヲ聞クト同時ニ稜線ヲ依空（高度約一。〇。）超越シテ北飛行場ニ銃撃ヲ初ハ来レル敵機ケラマン一三機ヲ發見ス、大隊ハ直ニ戦闘姿勢ニ轉移ス

一。〇。四。敵機ケラマン北飛行場急襲各隊戦闘姿勢ニ轉移スベキ命アリ

北飛行場ヲ攻撃セル一三機ハ攻撃後海上ニ出テ約五。〇米ノ超低空ニテ大隊ノ死界ニ入り信管射撃ヲ準備セルニ再ビ来ラズ西南方ニ逃走ス

敵機ノ来襲状況附圖第二ノ如シ

一。〇。八。敵機ハ現在那霸上空中ト、情報アレトモ敵機来ラズ至嚴ナル警戒ニ一。一。〇。トナレ



情報

一〇〇。空襲警報解除セラレ警急姿勢乙ニ移行ヲ命ゼラル  
一一。二六 三日 四日 南西諸島ヲ攻撃セル敵機ハ米第三十八機動  
部隊ニシテ三群ヨリ来リ一月三日ヨリ五日 六日迄南西諸島及台灣  
飛行場ヲ攻撃ノ企圖ヲ有スト捕虜ヨリ得タル情報アリ  
同時ニ高射砲司令官殿ノ注意「益々警戒厳テラ要スト」情  
報ニ附記サル

一四。三敵機台北ニ在空中ノ情報ニ引續キ警急姿勢甲ニ移  
行ヲ命ゼラル

一六。其ノ後敵情ニ関シ新報ヲ得ズ警急姿勢乙ニ移行スハ  
キ命アリテ大隊ハ嚴重ナル警戒配置ヲ爲シテ乙ノ姿勢ニ入ル  
其ノ後敵狀ニ関シ新報ナク明日拂曉ノ敵襲ニ備ヒ大隊長  
以下陣地ニ夜ヲ徹シ至嚴タル對空監視ヲ繼續シツ今次戰  
闘ヲ終ル

其ノ二 關係部隊ノ動作  
友軍機ノ飛行場發着及上空通過ノ狀況附表第三如シ  
其ノ三 連絡施設ノ狀態  
連絡網構成要領ハ附回第三ノ如ク今次戰闘ニ關シ  
故障ナシ

六、戰闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

其ノ一 我ヲ形勢ノ概要

次期作戰準備

警急姿勢ニ移行ト共ニ本部各中隊ニ銳意砲制ノ整備  
強化並ニ兵器ノ點檢手入及彈藥ノ整備ヲナシテ依然嚴重  
ナル監視警戒ヲ續行セント陣地ニ待機翌拂曉時ノ戰闘ニ  
遺憾ナカラシム

大隊長訓示

大隊長ハ戰闘終了後先記要旨ノ訓示ヲ爲ス

ハ大隊一同、不敵ノ努力ハ欣快ニ堪ヘザレモ今次異國ニ敵機撃墜モセザリシハ遺憾トス

又比島作戦ハ漸ク熾烈トナルベシ 吾人ノ任務日ニ其ノ重要性ヲ加フル時 諸子ハ克ク秋霜烈日ノ訓練ニ依リ儘ノ不足ヲ補ヒ以テ侵入敵機ノ全滅ヲ期セヨ

### 大隊長ノ教育

大隊長ハ各中隊ヲ實視シテ、幹部教育ヲナス

イ。高高度目標ニ對スル射撃練習

ロ。中飛行場襲撃敵機ニ對スル射撃練習

ハ。對戰車戦闘

其ノニ 敵ノ形勢ノ概要

三日、四日、南西諸島ヲ攻撃セル敵機ハ米第三十八機動部隊ニシテ三群ヨリ成リ十一月二十一日、ウルシヲ出發シ三日、四日

本島攻撃ト共ニ台場ヲ攻撃シテ後、台場東南方海上附近

一陸軍

ニ遊戈中ナルガ如シ

### 七. 齟齬過大又其ノ他参考トナルベキ事項

ハ。運搬ニ就イテ

自動車數々一 自轉車一。リヤカー 六ヲ裝備

スルヲ要ス

理由

大隊ノ戦闘姿勢ニ在ル場合 彈藥、糧秣ノ補給運搬ニ餘剩兵無ク、臂力運搬不能ニ付支障アリ

ハ。所見

イ。敵ノ企圖判断

比島上陸作戦ニ對スル後方遮断ヲ目指シタルモノナラン

ロ。敵機ノ行動

一。一。南西空襲ニ比シテ非常ニ消極的ニシテ、銃撃精度又不良ナリ

ノ大隊一同、不敵ノ努力ハ欣快ニ堪ヘラレモ今次戦闘ニ敵機撃墜ヨセザリシハ遺憾トス

2. 比島作戦ハ漸ク熾烈トナルベシ 吾人ノ任務日ニ其ノ重要注ヲ加フル時 諸子ハ克ク秋霜烈日ノ訓練ニ依リ儘ノ不足ヲ補ヒ以テ侵入敵機ノ全滅ヲ期セヨ

### 大隊長ノ教育

大隊長ハ各中隊ヲ實視シテ幹部教育ヲナス

イ. 高高度目標ニ對スル射撃練習

ロ. 中飛行場襲撃敵機ニ對スル射撃練習

ハ. 對戰車戦闘

其ノニ 敵ノ形勢ノ概要

三日、四日南西諸島ヲ攻撃セル敵機ハ米第三十八機動部隊ニシテ三群ヨリ成リ十二月二十一日ウルシヲ出發シ三日、四日本島攻撃ト共ニ台灣ヲ攻撃シ後 台灣東南方海上附近

ニ遊文中ナルガ如シ

### 七. 艱難過及及其ノ代參考トナルベキ事項

1. 運搬ニ就イテ

自動貨車數々モ一 自轉車一。リヤカー一 六ヲ裝備スルヲ要ス

### 理由

大隊ノ戦闘姿勢ニ在ル場合 彈藥、糧秣、補給運搬ニ餘剩兵無ク臂力運搬不能ニ付支障アリ

### 2. 所見

イ. 敵ノ企図判断

比島上陸作戦ニ對シ後方遮断ヲ目指シタルモノナラン

ロ. 敵機ノ行動

一。一。南西空襲ニ比シ非常ニ消極的ニシテ 銃撃精度又不良ナリ

八、爾後、訓練ニ就テ

(一) 薄キ煙霧、爲敵機ノ發見困難ヲ生ズ、煙霧中、發見

及照準訓練ヲ更ニ向上セシムルヲ要ス

(二) 照準完了ヲ迅速ナラシムル爲、研究訓練ヲ要スルモノト認ム

(三) 同時ニ編隊以上在空スル場合ニ於ケル迅速適確ナル射撃、決心ノ確立ニ付イテ更ニ修練ヲ要スルモノト認ム

八、戰果一覽表

附表 第四ノ如シ

九、死傷表

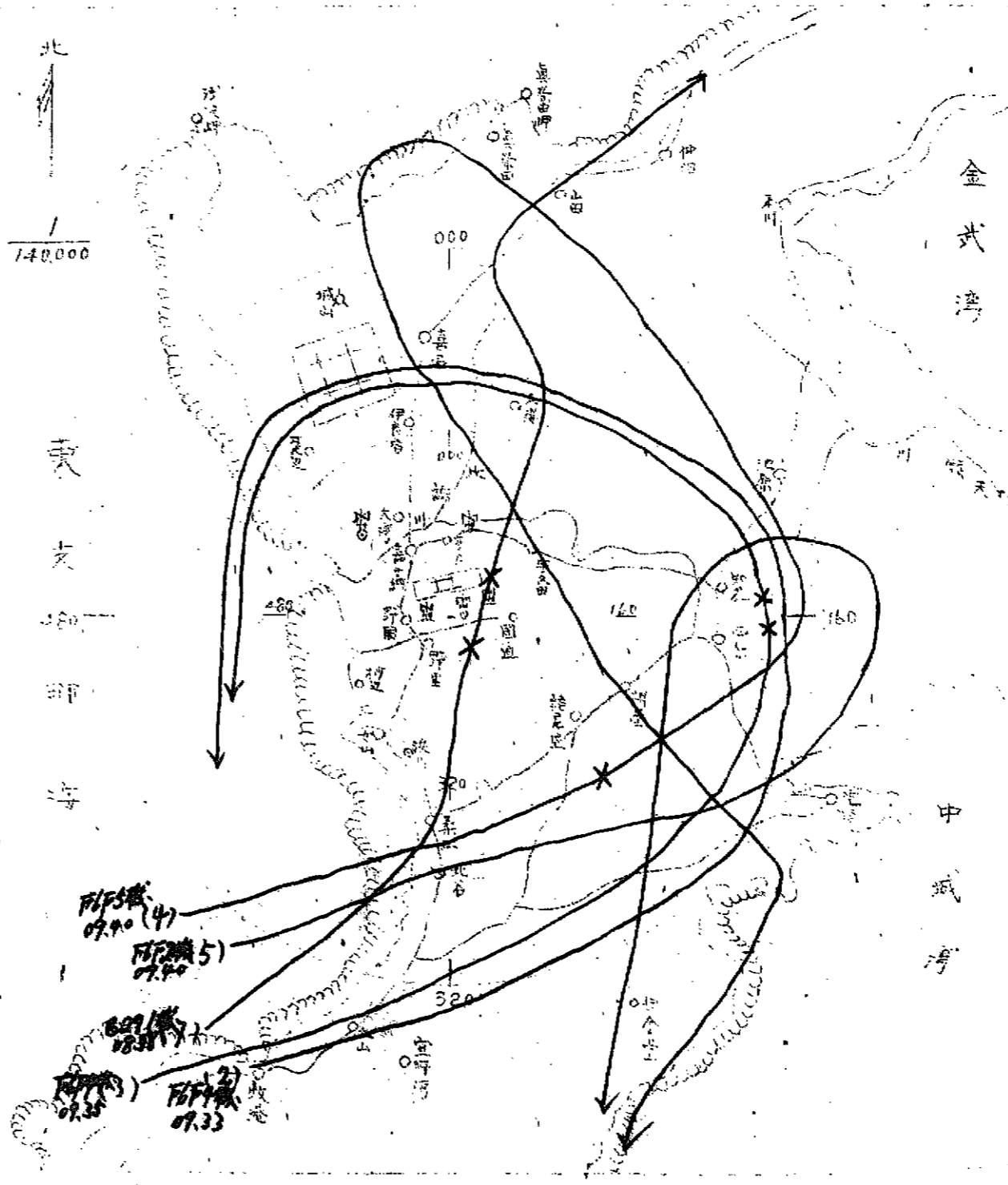
死傷 無シ

一〇、兵器損喪表

附表 第五ノ如シ



射擊中隊	時刻	機種	機數	高度	航程	炸彈	結果
2中隊	07.05	B29	1	1000	120	1	2729 擊退
3中隊	07.06	B29	1	8000	150	1	2929 "
3中隊	07.37	F6F	4	3300	90	2	2927 "
2中隊	07.44	F6F	5	3400	110	1	2728 "



×印ハ射擊位置

野戰高射砲隊第八大隊戰報(野戰高射砲隊)戰報圖  
 三月一日 上午八時五分 於野戰

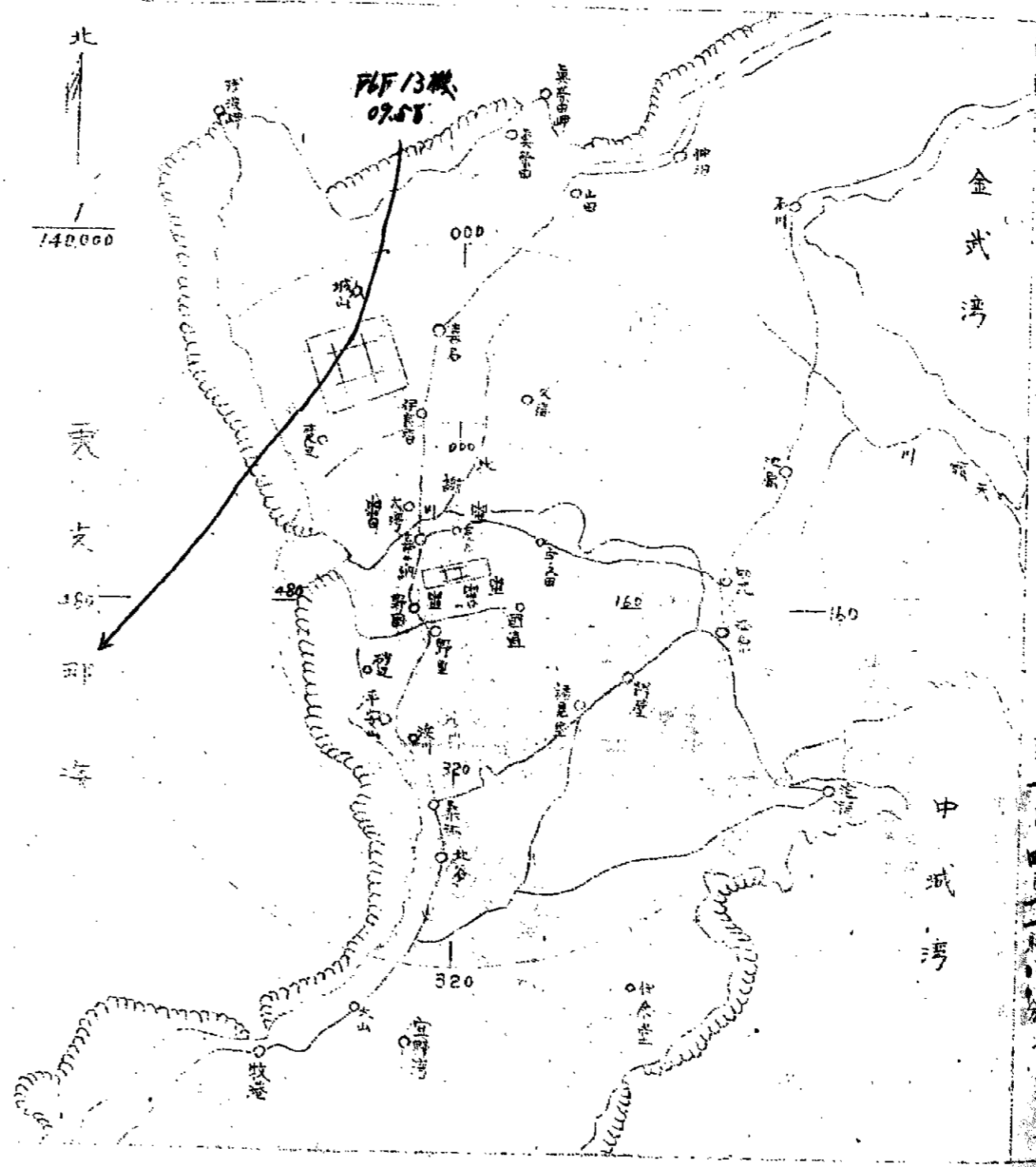
金武灣

中武灣

東京海軍

摘要

諸元	時刻	機種	機数	高度	航速	残存率	結果
0758	0758	F6F	13	100~50000		56.5	



敵機超低空死界=シテ射撃スルニ至ラズ

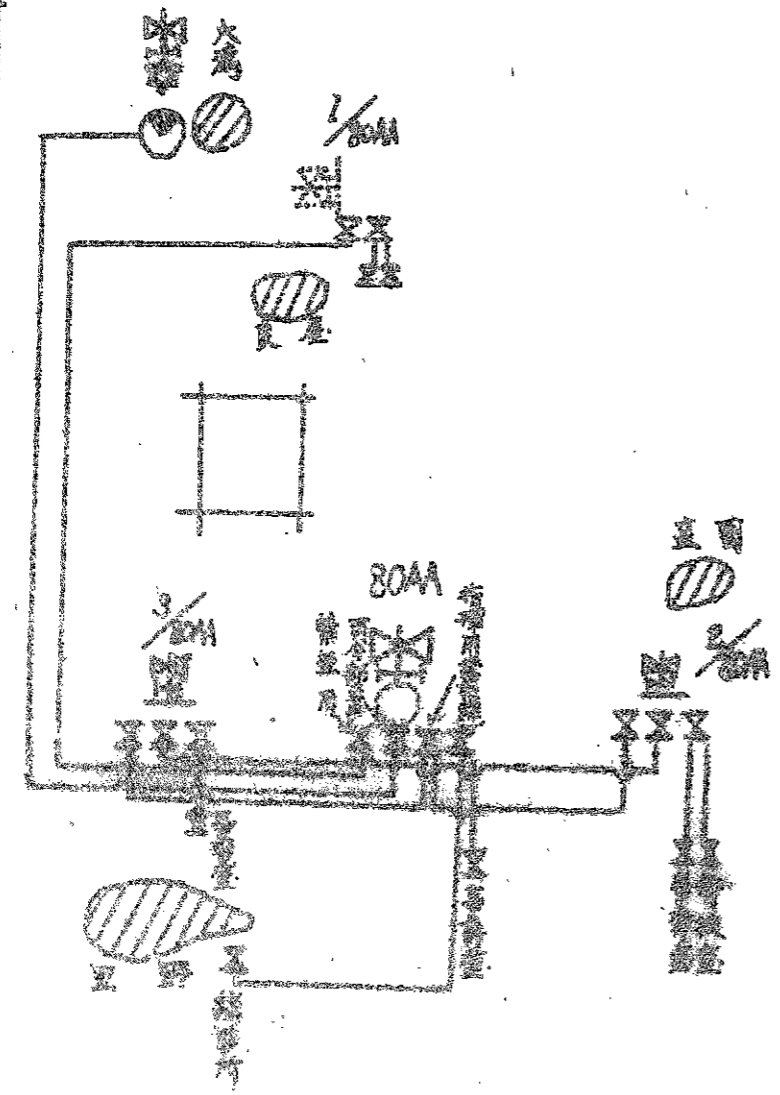
昭和二十八年八月一日 敵機襲撃の経緯 (中略) 敵機一機、金城湾に墜落し、機体破損、乗員死亡。...

11月11日

1177  
1288

附圖第三

# 通信網構成要圖



昭和二十年一月五日  
野高八太郎

1  
1  
1  
1

附表第一

平均氣象諸元 野高八〇大隊

月日	平均諸元	
一月三日	晴	天候
一月四日	小雨	氣溫
	一八・三	氣壓
	七五九・〇	雲高
	六八五	雲量
	一・〇	風速
	二・〇	風向
	北々東	視程
	五・〇	



大隊兵力一覽表 野高八。大隊

隊別	入		負		兵		吞		摘要
	將校	下營	兵	兵	八式	九式	彈藥		
本部	八	一六	六〇		一				
第一中隊		一	一四						中隊下營
第二中隊	四	一三	一三六	六	一		二七三〇		
第三中隊	四	一三	一三六	六	一		二九三〇		
合計	一六	四三	三四六	一二	三	五	五六六〇		

友軍機飛行場發着及上空通過狀況

野高八

月日	發着時刻	方向	機種	機數	高度	發着方向	備考
一三	七五〇	四〇七	靖國	一	五〇〇	東北	
〃	七五六	四七〇	〃	一	五〇〇	東北	
〃	八〇〇	四八〇	輸送機	一	三〇〇	東北	南上丸 通過
〃	八三〇	三八〇	九六零改	一	一〇〇	東	
〃	九一六	四〇一	二双高練	一	五〇〇	西南	巖井飛行場着
一四	〇八三	〃	靖國	二	五〇〇	東北	
〃	一五三五	〃	二双高練	一	三〇〇	東北	
〃	一五四五	〃	九九零偵	一	五〇〇	東北	
〃	一七一七	六〇一	九九零偵	一	三〇〇	西南	中飛飛行場着

戰果一覽表

野高八。六隊

中隊別	月日	時	機種	機數	高度	航速	備考
第二中隊	一三	九。五	B29	一	八〇〇	一二〇	擊退
第三中隊		九。六	B29	一	八〇〇	一五〇	
第三中隊		九。七	B29	四	五五〇	九〇	
第三中隊		九。四	B29	五	三四〇	一一〇	

附表第五

兵器損耗表 野高八。大隊

合計	第三中隊	第二中隊	本部	隊別	種別
				九。式高射	消費
五	三	二		火	費
ナ				式	損
シ				器	
ト				彈	
シ				藥	
ケ				其	欠
シ				他	